



協 育

東根市立第三中学校
学校だより

令和元年度 第10号
(令和2年1月28日)

発行者：校長 加藤淳一

感謝の心をエールに込めて 園児たちも大応援！



～ 三中生なら大丈夫！ 桜は必ず咲く！ ～

【受験期を前に「進路激励会」】

「フレイ・フレイ三中！がんばれ・がんばれ3年生！」響き渡る元気ハツラツとした応援の声。志を胸に秘めた受験生の真っ直ぐな眼差し。進路激励会が行われ、1・2年生からの力強い応援と、東部こども園の園児たちによるダンスとエールが受験生の心にしっかり届きました。

また、1・2年生が心を込めて贈った「メッセージ入りはちまき」にも、感謝と激励の気持ちが織り込まれていました。志望校合格に向けて、まさに地域が「ワンチーム」となった空間。元気と勇気が共鳴した素晴らしい時間が流れました。受験生のみなさん、あの温かいエールを胸に、残された時間を精一杯、自分を信じて歩んで下さい。「念ずれば 花開く」「念ずる」とは努力し続けること。受験生のひたむきな姿を、私達はこれからも全力で応援し続けます。



※YBC（山形放送）・YTS（山形テレビ）で取り上げていただきました。

激励会の後、合格はちまきを締めて
気合を入れ直す
3年生の様子。



「自分らしい生き方」を考える時間 夢を幸せをつかむために 社会のために

【1月18日 2年生「立志式」】

2年生は日本古来の武家社会の風習「元服」にあたる儀式、「立志式」を行いました。「『志』を立て、自分の将来に向けて、精神的な支えにしよう」と行う儀式。本校では、次のような目的で継続しています。

- ①将来の目標や夢、生き方について自分自身を見つめ考える機会としたい。
- ②「願いを込めた言葉や思い」を発表することで、自分の行動に責任を持ち、一生懸命立ち向かう姿勢を養いたい。

生徒たちは、これからの長い人生を見据えながら、自分の生きていく目的とは何かを定めて、それを成し遂げる誓いを「支えとなる言葉」に乗せて発表しました。緊張しながら発表した「志」は、これからの大きな力となることでしょう。

後段は「ひろなり家具」代表の佐藤弘成さんをお招きし、「夢をカタチに」と題して、ご講演いただきました。「小さなステップで目標をもち、達成していく積み重ねこそ大切」というメッセージをいただき、自分らしい生き方、充実した将来のために、今後どうあるべきかを考える貴重な時間となりました。



2年生の座右の銘、「志」を紹介します（要約した内容です）。

◇「現状打破」小関 柊汰（しゅうた）くん

自分の現状を打ち破って、新しい自分のために行動をおこしたいと思っています。将来、人にインターネットで情報を伝えるアフィリエーターという職業に就きたいです。理由は誤った情報ではなく、正しい情報を伝え、人の役に立ちたいと思ったからです。そのために中学校、高校、大学での勉強を大切にしていきます。「現状打破」のために、失敗を恐れずに挑戦し、たとえ失敗してもその理由を考えてまた挑戦していきます。

◇「失敗するから上達する」滝口 真衣（まい）さん

失敗は決して悪いことではないと思います。なぜなら、失敗してもその失敗から学んで、上達していくと思うからです。私の夢は、着てくれた人が笑顔になる服をつくるファッションデザイナーになることです。小さいころから、物をつくったり、服の絵を描いたりするのがとても楽しい時間でした。これから夢に向かって、くじけずに頑張り、前に進んでいきたいです。

◇「本当の敵は自分自身」名和 拓海（たくみ）くん

エチオピアのマラソンランナー、アベベ・ビキラ選手の言葉です。自分を敵として見ることで、自分自身を見つめ直せると思います。将来、公務員のような人の役に立つ仕事に就きたいと考えています。これまで地域の方々に支えられ、たくさんのことを学んできました。それらを役立たせることこそ、僕にできる最大限の仕事だと思います。そうなるために、相手のことを思いやり、あいさつや礼儀を大事にしていきます。そして、地域の方々に感謝の気持ちを表しながら、残りの中学校生活を大切にしていきます。

※山形新聞で取り上げていただきました。

【1月18日 1年生「未来同窓会」「進路学習会」】

1年生は20年後にタイムスリップ。「32歳、33歳の私」になって、近況を報告し合う「未来同窓会」を行いました。この行事は、前校長の田中敦先生のご協力のもと、生徒一人一人が将来の自分になりきり、夢をつかんだ姿や社会の一員として活躍している姿を伝え合いながら、今後の進路意識を高めていくものです。プロ野球で2億8千万プレーヤー、フィットネスクラブ経営、大繁盛の定食屋さん。生徒たちが思い描く未来予想図は、希望に満ちあふれていました。その予想図についての質問もたくさん飛び交いました。

後段は保護者の方々から体験談や、生きがい、子育て、働くことの大変さ、生徒たちに期待することなどを話していただきました。「夢に向かってチャレンジする心が大事」「失敗しても大丈夫」など、温かいメッセージをいただき、前向きに生きる道しるべとなりました。

【ご協力いただいた保護者のみなさま】

- ①清野 真 さん（慶太くん）
 - ②大江 誠 さん（奈津さん）
 - ③小山田ひとみ さん（はるかさん）
- 貴重なお話をありがとうございました。

「春に花を咲かせる」ために 今を大事に生きる 桜の花のように



～ 校長講話紹介 全校生に贈った「休眠打破」～

桜の花芽は、咲く前の年の夏につくられます。しかし、つくられるものの、それ以上は大きくなり、その後「休眠」という状態に入ります。そして、休眠した芽は、一定の期間、低温にさらされることで眠りから覚め、開花の準備を始めます。これを「休眠打破」と言います。

休眠打破は、秋から冬にかけて冷たく厳しい環境にさらされることが重要なポイントです。辛い時期を乗り越えた花芽は、春を迎え、気温が上がることに伴って再び成長し、花を咲かせます。秋・冬の厳しい寒さがあって「休眠打破」が行われ、桜は美しく咲くのです。つまり、厳しさにさらされてこそ、きれいな花が咲くのです。ずっと温かくやさしい環境で過ごしているだけでは、桜の花は咲かないということなのです。

このことは、他の植物や動物、そして、人間にも共通することだと思います。大変なことがあっても、そこから逃げずに、前向きにぶつかっていくことが大切なのです。そのことを、三中に咲く桜も寒さに耐え、精一杯生き、みなさんに伝え続けているのです。

先日、ドイツのシッティングバレーチームが来校し、みなさんと交流しました。「あの笑顔」「あの前向きさ」どうでしたか。私は元気をもらっただけでなく、学ばせていただいた感謝の気持ちでいっぱいでした。障害をもっていても、辛さを表に出さず、「前を向いて、一度だけの人生をより良くするんだ。」という人としての強さがにじみ出ていました。大きなけが、大きな障害を負って、どれだけ泣き、苦しんだことでしょう。私には、あの姿はまさに「休眠打破」であり、「未来と自分を変えている姿」だと感じました。

私たちが生まれてきたのは、幸せになるためです。3年生は受験という厳しい環境にさらされています。2年生・1年生は本当に寒い中での部活動などに挑んでいます。これからさらに厳しい時期が続きますが、ここが我慢のときです。これからの1日1日、1時間1時間、自分の将来の幸せを信じて、春のよろこびを信じて、逃げずに積み重ねていってほしいと願っています。三生生一人一人、今を大事にして、春、心に桜を咲かせましょう。

校長が受けもつ「全校授業」ととらえ、行っています。生徒の心を少しでも耕すことができたいと思っています。感想を読み、一人一人にコメントを書く時間が私にとって「至福のとき」です。

2月の予定等

1・2年生の下校時間です。3年生は放課後の活動によって、違いがでます。学年・学級だより等をご参照下さい。

日	曜	行 事 等	給食	部活	下校予定
1	土			◆	各部ごと
2	日			◆	各部ごと
3	月	月の1～5・水の6授業 全校集会	○	○	18:00
4	火		○	○	18:00
5	水		○	なし	16:05
6	木	東郷小・高崎小「交流授業」 ※学校集金振替日	○	○	18:00
7	金		○	○	18:00
8	土			◆	各部ごと
9	日			◆	各部ごと
10	月	「EPディ（エンパワーメント充電ディ）」 ⇒良さを伸ばす日・引き出す日・まかせる日 ※4時間授業 ※部活動なし	○	なし	14:30
11	火	建国記念の日		◆	各部ごと
12	水	校内研修会	○	なし	14:55
13	木	避難訓練・自己生活アンケート	○	○	18:00
14	金		○	○	18:00
15	土			◆	各部ごと
16	日			◆	各部ごと
17	月	全校集会・職員会議	○	なし	15:35
18	火	※テスト前：部活動なし	○	なし	16:25
19	水	テスト前勉強会 ※テスト前：部活動なし	○	なし	17:25
20	木	※テスト前：部活動なし	○	なし	16:25
21	金	3学期期末テスト・専門委員会	○	○	18:00
22	土	①PTA会長・副会長②各専門部長・副部長 ③各学年委員長・副委員長のみなさま、よろしく願いいたします。		◆	各部ごと
23	日			◆	各部ごと
24	月			◆	各部ごと
25	火		○	○	18:00
26	水	校内研修会・東根三中PTA常任評議員会（19:00～）	○	なし	14:55
27	木		○	○	18:00
28	金	東根市PTA連合会評議員会	○	○	18:00
29	土			◆	各部ごと

【3学期始業式：「私だけの目標」を胸に抱き、生徒たちが元気に学び舎に集いました。】

4月に進級・進学し、スタートする学期は1学期。ならば、そこに強く結びつくこの時期は、その準備を意味し、「1の前の0（ゼロ）学期」と考えることもできます。今日から大事な準備期間「0学期」がスタートするのです。（略）生徒たちに、こんな話をしました。今学期も三中生のもつ真面目さ、前向きさ、優しさを存分に発揮できるようにしていきます。そして、1年をまとめていくとともに、次年度に向けて、しっかりと準備をしていきます。

保護者のみなさま、地域のみなさま、年末・年始休業も含め、生徒たちを見守っていただきありがとうございます。今後とも「地域の宝」を「ワンチーム」で育てていきますよう、ご指導とご支援をよろしくお願いいたします。